

単券	
全席指定 6,500円 / U-25 3,000円	
〈トマス・ヘル プロジェクト 2025〉2公演セット券(5/26、5/29) [通常価格13,000円のところ] 限定数販売 クラブ同時入会可	
トッパンホールクラブゴールド会員 9,880円	トッパンホールクラブレギュラー会員／一般 11,180円

セット券・単券発売：2月19日(水) [会員：2月15日(土)]



トッパンホールWEBチケット www.toppanhall.com

トッパンホールチケットセンター 03-5840-2222

チケットぴあ t.pia.jp [Pコード 5/26公演 288-172 5/29公演 288-177]

イープラス eplus.jp

ローソンチケット l-tike.com [Lコード 5/26公演 32917 5/29公演 33130]

会員優待割引およびセット券は、「トッパンホールWEBチケット」「トッパンホールチケットセンター」でお申し込み頂けます。
 ＊U-25券(席の限定有)は、トッパンホールチケットセンターで販売いたします。＊未就学児のご入場はお断りいたします。
 ＊託児サービス【要予約・有料】：公演日1週間前までに株式会社Kidventureへ、
 右記二次元コードより申し込みください。
 ※やむをえず、曲目・出演者などに変更がある場合がございます。あらかじめご了承ください。
 ※開場は開演の30分前となります。



交通のご案内

江戸川橋駅 地下鉄有楽町線(4番出口)より徒歩約8分
 飯田橋駅 JR総武線(東口)、地下鉄有楽町線、東西線、南北線、大江戸線(B1出口)より徒歩約13分
 後楽園駅 地下鉄丸ノ内線、南北線(1番出口)より徒歩約10分
 都営バス [上69] [飯64] 「大曲」または「東五軒町」下車徒歩約3分
 ※地下駐車場をご利用いただけます。(ホールご来場者割引あり)

トッパンホール

〒112-0005 東京都文京区水道1-3-3 Tel:03-5840-2200 Fax:03-5840-1515
www.toppanhall.com



人と自然をつなぐ、伝統と革新をつなぐ。

想いをかたちに 未来へつなぐ

TAKENAKA

竹中工務店(兵庫県神戸市)
 設計施工：竹中工務店

株式会社 竹中工務店 本社：〒541-0053 大阪市中央区本町4-1-13 Tel.06-6252-1201 / 東京本店：〒136-0075 東京都江東区新砂1-1-1 Tel.03-6810-5000

ヘル写真©藤本史昭 山根写真©T.Tairadate 周防写真©松尾淳一郎 水野写真©Yuji Ueno 谷口表面写真©ferranteferranti / 中面写真©Mary Laure Jolibois
 当チラシに掲載している写真について、許可なく複製あるいは転用することを固く禁じます。 ©TOPPAN HALL 2025.1 K I



トマス・ヘル プロジェクト
THOMAS
HELL
PROJECT 2025

トッパンホール

I
5/26²⁰²⁵ 月

Ligeti & Bartók
リゲティ&バルトーク

II
5/29²⁰²⁵ 木

J.S.Bach & Shostakovich
J.S.バッハ&ショスタコーヴィチ

主催：トッパンホール
特別協賛：竹中工務店



Thomas Hell, piano
トーマス・ヘル

2023年5月、リゲティの生誕100年の日に、リゲティの魅力と存在意義を再確認しながら彼の音楽を満喫しようと企画したコンサートで主役を務めたトーマス・ヘル。リゲティ生誕の地トランシルヴァニアからの同日のオファーを断って出演し、聴衆はもとより共演した日本の中堅、若手の実力者にも大きなインパクトと影響を与えたのは記憶に新しい。語り草になっているトッパン初登場のリゲティ〈エチュード全曲〉演奏（16年）以降、リゲティや現代音楽のスペシャリストにとどまらず、ドイツ音楽の系譜を自身のものとし、さらには日本の文学や芸術にも深い知見を持つアーティストとしての顔を見せ続けるトーマス・ヘル。そんなヘルに日本の俊英との共演を提案し、企画した第2弾が今回のプロジェクト2公演。

初日(5月26日)は、ヘルが自家楽籠中の物とするリゲティの初期の傑作《ムジカ・リチェルカータ》を、作曲当時リゲティが敬愛していたバルトークと組み合わせたハンガリー・プログラム。独特の楽器編成の名作《2台ピアノと打楽器のためのソナタ》には、パリに留学後、オルレアン国際ピアノコンクールで入賞し、留学中ながらもフランスやイタリアで精力的にコンサート活動を展開する谷口知聡が共演する。日本人にしては珍しく独自の視座を持つ彼女は、トッパンでのマスタークラスでヘルと出会い親交を重ね今日に至る。バルトークの室内楽作品を語る上で欠くことのできないのが2つのヴァイオリン・ソナタ。10年前に北村朋幹と第1番を弾いて鮮烈な印象を与えた山根一仁が今回初めて第2番に挑戦する。受けて立つヘルとの間で激しい火花が散

り、なかなか演奏されないこの曲の魅力が明らかになることだろう。

2日目(5月29日)は、没後50年を迎えたショスタコーヴィチにフォーカスしたプログラム。2009年にトッパンホールが日本初演した《交響曲第15番》のデレヴィアンコ編曲版。公演直前に急遽ヴァイオリニストの交替がありその時から再演の機会を狙っていたが、サイトウ・キネン・オーケストラ等の常連としても知られる竹原美歌、L.ニルソンのコンビを今回のバルトークのためにスウェーデンから招聘するにあたって、その想いをヘルにぶつけた。彼も早速曲を研究し快諾してくれた。チェロのうめき声のような始まりから心を捉えて離さない《ピアノ三重奏曲第2番》も何度となくチャレンジしたい名作。周防亮介、水野優也というトッパンで充実の演奏を聴かせてきた俊才たちがヘルと出会い、どのような化学反応を起こすかが楽しみで声掛けをした。この2曲を繋ぐ作品として、ショスタコーヴィチを語る上で欠くことのできないJ.S.バッハの鍵盤作品はヘルに選曲を委ねた。熟慮の末選んだのが《トッカータ ニ長調》。その純粋な美しさはショスタコーヴィチの2つの作品の架け橋としてもふさわしい。と同時に、リゲティにしてもショスタコーヴィチにしても、偉大なる先人についての研究と愛なくしては非凡な才能の開花はなかった。そんなことも若い世代に伝えたいと願いながらプログラミングした。ヘルの知と技に触発され、日本の俊英が彼と共に輝く様をお楽しみいただきたい。

プログラミング・ディレクター 西巻正史

2025
I 5/26 MON. 19:00

リゲティ&バルトーク Ligeti & Bartók

リゲティ：
ムジカ・リチェルカータ
〔ヘル〕
Ligeti: Musica ricercata

バルトーク：
ヴァイオリン・ソナタ第2番 Sz76
〔山根／ヘル〕
Bartók: Violinsonate Nr.2 Sz76

バルトーク：
2台ピアノと打楽器のためのソナタ Sz110
〔ヘル／谷口／竹原／ニルソン〕
Bartók: Sonate für zwei Klaviere und Schlagzeug Sz110



5/26
山根一仁
Kazuhito Yamane, violin



5/26
谷口知聡
Chisato Taniguchi, piano

2025
II 5/29 THU. 19:00

J.S.バッハ&ショスタコーヴィチ J.S.Bach & Shostakovich

ショスタコーヴィチ：
ピアノ三重奏曲第2番 ホ短調 Op.67
〔周防／水野／ヘル〕
Shostakovich: Piano Trio No.2 in E minor Op.67

J.S.バッハ：
トッカータ ニ長調 BWV912
〔ヘル〕
J.S.Bach: Toccata D-Dur BWV912

ショスタコーヴィチ(室内楽版／デレヴィアンコ編)：
交響曲第15番 イ長調 Op.141a
〔ヘル／周防／水野／竹原／ニルソン／竹泉〕
Shostakovich (Chamber Version/arr. Derevianko):
Symphony No.15 in A major Op.141a



5/29
周防亮介
Ryosuke Suho, violin



5/29
水野優也
Yuya Mizuno, violoncello



5/26
5/29
竹原美歌
Mika Takehara, percussion

5/29
竹泉晴菜
Haruna Takeizumi, percussion



ルードヴィック・ニルソン
Ludvig Nilsson, percussion